

早稲田大学 教育学研究科
修士課程 入試問題の訂正内容

<2023年度 一般・外国学生入試 社会科教育専攻>

【専門科目】

●問題冊子3ページ :問題Ⅲ Ⅲ－A 本文14行目

(誤)

～勘解由次官朝隆聖書、…

(正)

～勘解由次官朝隆清書、…

以上

2023年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 一般・外国学生入学試験問題

【専門科目】 【社会科教育専攻】

解答上の注意

1. 社会科教育専攻の入学試験問題は、問題Ⅰ～問題Ⅳまであります。

出願時に届け出た研究指導・指導教員により、下記の表の解答すべき問題に答えなさい。

志願票に記入した研究指導名	志願票に記入した指導教員名	解答すべき問題
社会科教育研究指導	池 俊介	問題Ⅰ－A・問題Ⅱ
社会科教育研究指導	近藤 孝弘	問題Ⅰ－B・問題Ⅱ
歴史学研究指導	高木 徳郎	問題Ⅲ－A・問題Ⅳ
歴史学研究指導	大橋 幸泰	問題Ⅲ－B・問題Ⅳ
歴史学研究指導	石濱 裕美子	問題Ⅲ－C・問題Ⅳ
歴史学研究指導	小松 香織	問題Ⅲ－D・問題Ⅳ
歴史学研究指導	堀越 宏一	問題Ⅲ－E・問題Ⅳ
歴史学研究指導	小森 宏美	問題Ⅲ－F・問題Ⅳ
地理学研究指導	久保 純子	問題Ⅲ－G・問題Ⅳ
地理学研究指導	箸本 健二	問題Ⅲ－H・問題Ⅳ
地理学研究指導	山内 昌和	問題Ⅲ－I・問題Ⅳ
政治学研究指導	遠藤 美奈	問題Ⅲ－J・問題Ⅳ
経済学研究指導	藁谷 友紀	問題Ⅲ－K・問題Ⅳ
経済学研究指導	熊谷 善彰	問題Ⅲ－L・問題Ⅳ
社会学研究指導	若林 幹夫	問題Ⅲ－M・問題Ⅳ
社会学研究指導	野上 元	問題Ⅲ－N・問題Ⅳ
メディア・コミュニケーション学研究指導	伊藤 守	問題Ⅲ－O・問題Ⅳ

2. 解答すべき問題以外を解答した場合、当該解答は「0点」となります。

3. 解答用紙の所定欄に、「問題番号」（例：「Ⅰ－A」・「Ⅲ－A」など）を必ず記入すること。

また、全ての解答用紙の所定欄に受験番号・氏名・研究指導名・指導教員名を必ず記入すること。

4. 解答用紙は、「問題番号」別に使用すること（一つの問題で一枚使用）。

5. 解答用紙のホッチキスは、はずさないこと。また、無解答の解答用紙でも提出すること。

6. 問題用紙は「6枚」（本ページ含む）、解答用紙は「2枚」です。必ず枚数を確認すること。

以 上

2023年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科教育専攻】

問題Ⅰ 社会科教育研究指導の志願者は、表紙を参照のうえ、教員別に指定された A または B を選んで答えなさい。

I-A (社会科教育研究指導1)

フィールドワークを通して身に付く資質・能力について述べなさい。

I-B (社会科教育研究指導2)

高校教育課程に必修科目として公共を新設したことは、日本における市民形成にどのような影響を与える可能性があるか、あなたの考えを理由とともに述べなさい。

問題Ⅱ 社会科教育研究指導の志願者は、次の a～h から 1 問を選んで答えなさい。

Ⅱ-a (日本史) 現代の歴史学における時代区分の考え方について、日本史にそくして論述しなさい。

Ⅱ-b (東洋史) イスラーム神秘主義教団がイスラームの伝播に果たした役割について論じなさい。

Ⅱ-c (西洋史) 国家の分離独立に関し、それを可能にする要因と阻害する要因の両方について、具体的な事例を挙げて説明しなさい。

Ⅱ-d (地理学) グローバルスケールで稲作と麦作を複数の側面から比較しなさい。

Ⅱ-e (政治学) 憲法と政党の関係について論じなさい。

Ⅱ-f (経済学) 戦略と戦術について比較し、論じなさい。

Ⅱ-g (社会学) 任意の社会学的な対象もしくはテーマを一つ挙げながら、F. テンニースが唱えたゲマインシャフト／ゲゼルシャフトの区別の有効性について説明しなさい。

Ⅱ-h (メディア・コミュニケーション学) テレビに代表されるオールドメディア中心のメディア環境から、SNSが浸透した環境への移行の中で、「世論」の形成がどのように変化しているか、具体的な事例を挙げて論述しなさい。

2023年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
〔専門科目〕 〔社会科教育専攻〕

問題Ⅲ 歴史学、地理学、政治学、経済学、社会学、メディア・コミュニケーション学の
各研究指導の志願者は、表紙を参照のうえ、A～Oの中から教員別に指定された
問題を選んで答えなさい。

Ⅲ-A (歴史学研究指導 日本史1)

以下の史料は、『中右記』長承元年(一一三二)三月九日・十三日条の一部を抜
粋したものである。これを読んで、以下の(1)～(3)の問いに答えなさい。

九日、庚子滅門、天陰時々雨下、今日白河千體観音堂供養習礼、
堂、備前守造営也、中央間安置丈六正観音像、其左右奉立等身正観音像各五百體、像中奉納
千體小仏云々、御仏院庁沙汰奉造立也、御堂東面也、東庭有舞台、南北兼立高座、其左右立
衆僧幄・楽屋等、右兵衛督顯頼・備前守忠盛朝臣早参、暫言談、(中略)
十三日、甲辰、今日千體観音堂供養可被行也、而從夜前終夜雨下、今朝雲葉旁潦雨脚猶下、
相尋人々所、御供養不定也、暫被待晴由被告送也、内々尋陰陽頭家榮之所、今日之外今月中
日次不見、四月祭以後無日次、閏月五月不可有也、来六月十三日壬寅、件日以前無日次也、
殿給御消息云、雨若宜者、今日必可遂由、有院宣、儲日六月十三日事之外遠故也者、只早々
可有御幸之由申了、及午時、雲雖不散、雨脚已止、下人云、御幸已成、予忝出立、有文帶也、
馳参之間、大炊御門京極程、御幸前駈已過渡者、暫留車、其間御幸、(中略)
今日大臣四人有文帶螺鈿劍、大殿白重下襲、此外大納言忠教卿、中宮権大夫忠宗、皇后宮権
大夫師時、三位中將頼長、又螺鈿劍有文帶也、其外人々皆蔭絵劍、
御願文、大輔、御願趣不可披露也、
呪願文、文章博士時定朝臣作之、勘解由次官朝隆聖書、
得長寿院、額名長尾宮撰申、関白殿令書額給、
右大臣作式、
今朝僧正覺猷開眼、其間民部卿被候云々、入夜陰雨下、甲辰日堂供養例、法成寺、宇治平等
院例云々、(中略)
勸賞国末叙一階、
国司忠成被下遷任宣旨、又被聽内昇殿、封戸百烟取寄、毎日所作被始之後、遷御云々、

- (1)全文をすべて平仮名で読み下しなさい。
- (2)全文を現代日本語に翻訳しなさい。
- (3)史料中、下線を付した人物はすべて同一人物を指している(最後の下線部には、一部、
誤記ないし誤写が含まれていると考えられている)。このことをふまえて、この記事で触れ
られている出来事に、どのような歴史的意義があるか、簡潔に論じなさい。

2023年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
〔専門科目〕 〔社会科教育専攻〕

Ⅲ－B (歴史学研究指導 日本史2)

次の史料は、天明期の飢饉や江戸打ちこわしについて書き留めた記録の一部である。この史料をもとに、この時期の秩序の動揺について、当時の人々がどのように認識していたのか、近世日本の人々の政治常識をふまえて論述しなさい。

此節諸人申候ハ、去ル卯辰(天明3・4年)より間も無く如斯世の中騒敷事、誠ニ御上之御政道不宜故ナルヘシ、第一世上一同奢リ増長シテ、何事モ金銀ニテ事ヲ済シ、(中略)勿論百姓も奢の余リ商人ト成、職人ハ遊芸ヲ好ミ、商人ハ奢りの余リ俄ニ金ヲ望ミ故博奕ヲナシ、如斯ニ四民トモニ自分の業ヲ外ニシテ他の業ヲ好ハ、是則逆道ナリ、諸人の心逆成故、天地モ自然ト逆ニなり、物毎不順ニナル故に如斯の飢饉トナリタルト申合シ、尤聖人の御代ニモ飢饉も有之たる由ニ申伝タレトモ、是ハ誠の天災ナルヘシ、当時の飢饉ハ政道の悪敷故成ヘシト皆人毎ニ申シけり

※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。
(天保八年七月『天明太平記』(『栃木県史 史料編・近世2』)より)

Ⅲ－C (歴史学研究指導 東洋史1)

20世紀初頭チベットに潜入した日本人はどのような目的意識をもっていたのかについて最低三人の実名をあげて論じなさい。

Ⅲ－D (歴史学研究指導 東洋史2)

オスマン帝国におけるトルコ・ナショナリズムについて政治的な観点から論じなさい。

Ⅲ－E (歴史学研究指導 西洋史1)

中世ヨーロッパにおける巡礼について、具体例に即して論じなさい。

Ⅲ－F (歴史学研究指導 西洋史2)

次の2つについて説明しなさい。

1. ロシア革命をめぐる歴史学上の評価の変遷
2. ドイツとポーランドの歴史的関係

2023年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
〔専門科目〕 〔社会科教育専攻〕

Ⅲ－G (地理学研究指導 自然地理)

以下の事項について、具体例を挙げて解説しなさい。

- 1) 丘陵地の人工改変
- 2) 地盤液状化
- 3) 縄文海進
- 4) 大陸氷床のつくる地形
- 5) テフロクロノロジー

Ⅲ－H (地理学研究指導 人文地理1)

以下の2問のうち、いずれか1問を選択し、問題番号を明記の上で回答しなさい。

- (1) 立地適正化計画に取り組む多くの基礎自治体が、居住誘導区域の実効性を課題としている。この課題の背景と、このことが立地適正化計画の掲げる政策理念の実現にどのような影響を与えるかを論じなさい。
- (2) 日本における「上下分離方式」による公共交通網の経営について、具体的な例を挙げつつ説明するとともに、その長短所についても論じなさい。

Ⅲ－I (地理学研究指導 人文地理2)

20世紀半ば以降における日本の農山村の構造変化を周辺地域化として捉える考え方がある。この周辺地域化の考え方について、その概要ならびに現代日本の農山村を理解する上での意義を説明しなさい。

Ⅲ－J (政治学研究指導)

プライバシーの権利をめぐる現代的問題について、憲法学の視点から論じなさい。

Ⅲ－K (経済学研究指導1)

シュンペーターは、著書『経済発展の理論』の中で技術革新(新結合の遂行)について論じた。その議論を念頭に置き、進捗しつつある情報技術の展開がもたらした「変化」、あるいはもたらしつつある「変化」は、技術革新と言えるか、考えを述べなさい。

Ⅲ－L (経済学研究指導2)

信用リスクの計量化について、誘導型モデルと構造型モデルを比較しながら論じなさい。

2023年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科教育専攻】

Ⅲ－M (社会学研究指導1)

次の2つの問いから1つを選択し、既存の学説や具体的な事例等に適宜言及しつつ解答しなさい。

- (1) 現代社会における「空間の生産」と「空間の消費」について、これらの言葉が意味することを説明したうえで論述しなさい。
- (2) 「現代社会」というコンセプトの社会学研究における意義と限界を、「近代社会」というコンセプトとの比較において論述しなさい。

Ⅲ－N (社会学研究指導2)

現代の任意の社会問題について、社会構築主義的な知見の利用による社会啓蒙の可能性と限界について論じなさい。

Ⅲ－O (メディア・コミュニケーション学研究指導)

メディア研究の古典とも言うべき「コミュニケーションの二段の流れ」仮説があります。現代のメディア環境の変化をふまえて、この仮説の現代的展開の可能性もしくは不可能性について論述しなさい。

問題Ⅳ 歴史学、地理学、政治学、経済学、社会学、メディア・コミュニケーション学の各研究指導の志願者は、次のa, bのうち1問を選んで答えなさい。

Ⅳ－a 社会科・地理歴史科の学習における「地名」の重要性について述べなさい。

Ⅳ－b 主権者教育(政治教育)においては、社会に対立する見解がある問題については、教員は両方を取り上げ、判断は個々の生徒に委ねるという考え方が成り立つ。こうした考え方は歴史の授業にどの程度に応用できるか、あなたの考えを理由とともに述べなさい。



